

市民アンケート調査報告書（概要版）

I. 実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期総合計画の策定に向けて、幅広く市民の意識や意向を把握し、計画策定の基礎資料として活用することを目的に相模原市民から無作為に抽出した 3,000 人を対象として実施した。

(2) 調査設計と回収状況

対象：相模原市内に居住する満 16 歳以上の市民。外国籍も含む。

抽出：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送回収法

調査時期：平成 29 年 9 月 26 日～10 月 16 日

調査内容：基本属性に加え、暮らしの満足度、定住意向、目指すべき都市像、力を入れてほしい施策等。詳細は、別途調査項目一覧及び調査票を参照。

回収数・回収率：発送数 3,000 に対し、1,635 の回答を得た。回収率は 54.5% である。

【参考】回答者の年齢構成

回答者の年齢は、「75 歳以上」が 15.7% と最も多く、全体の回答数に占める 60 歳以上の回答者は、46% となっている。

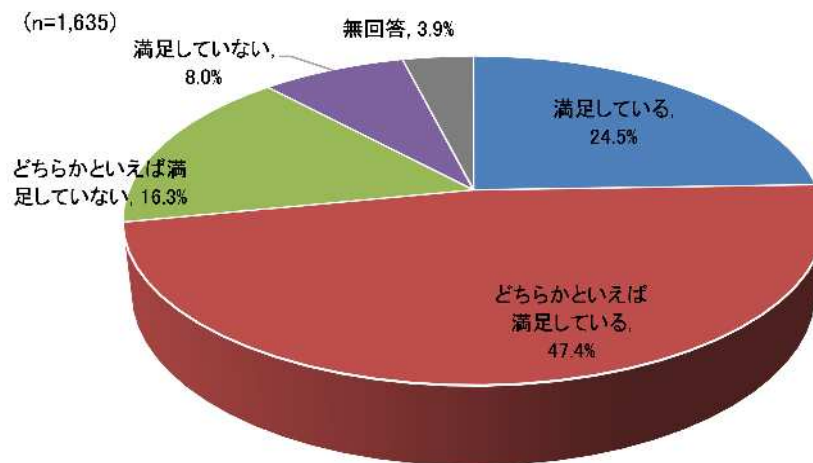
年代	送付数	回収数	回収率(%)	構成率(%)
無回答	0	46	-	2.8
16～19	118	40	33.9	2.4
20～29	422	118	28.0	7.2
30～39	424	187	44.1	11.4
40～49	581	247	42.5	15.1
50～59	438	244	55.7	14.9
60～64	198	143	72.2	8.7
65～69	250	177	70.8	10.8
70～74	223	176	78.9	10.8
75～	346	257	74.3	15.7
合計	3,000	1,635	54.5	100.0

II. 調査結果のまとめ

(1) 現在の暮らしの満足度

- 現在の暮らしの満足度は、「どちらかといえば満足している」が 47.4%で最も多く、次いで「満足している」が 24.5%、「どちらかといえば満足していない」が 16.3%となっており、満足に感じている市民が約7割を越えている。

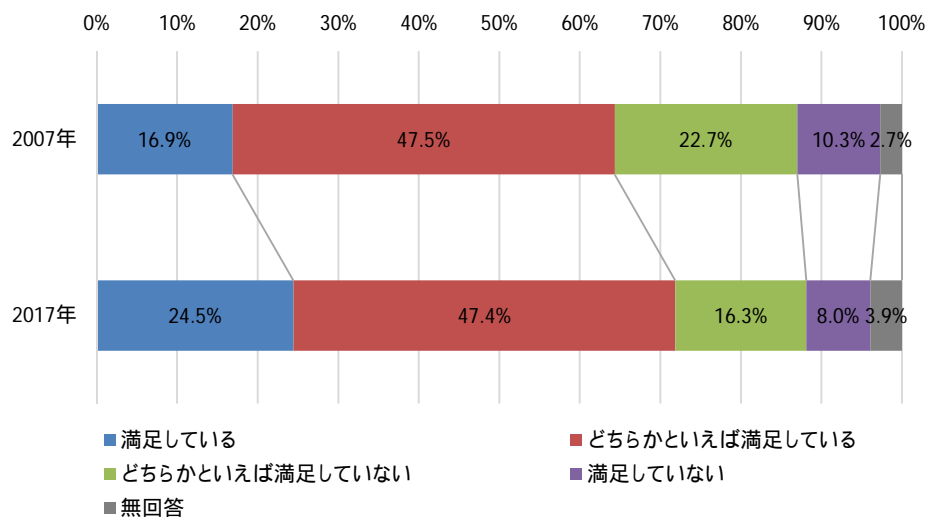
図表 II-1 現在の暮らしの満足度 (S A)



* 現在の暮らしの満足度の経年比較

前総合計画策定時のアンケート調査と比較すると、2007年の「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計が 64.4%、2017年の「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計が 71.9%となっており、満足度は上昇している傾向にある。

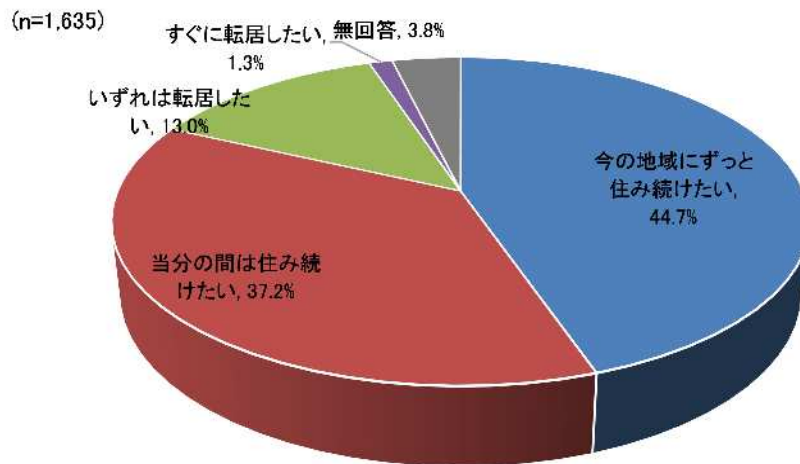
図表 II-2 現在の暮らしの満足度の経年比較 (S A)



(2) 今後の居留意向

- 今後の居留意向は、「今の地域にずっと住み続けたい」が44.7%で最も多く、次いで「当分の間は住み続けたい」が37.2%、「いずれは転居したい」が13.0%となっており、定住意向を持つ方が約8割を越えている。

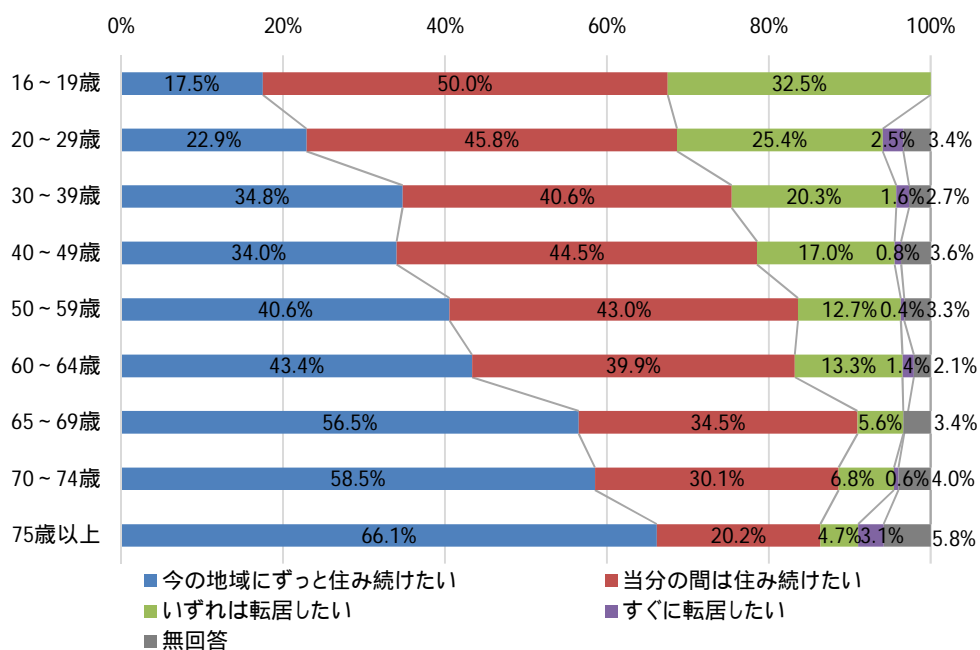
図表 II-3 今後の居留意向 (SA)



* 年齢階層別今後の居留意向

年齢階層が若いほど、「当分の間は住み続けたい」「いずれは転居したい」と考えている方が多く、年齢階層が高くなるにつれて「今の地域にずっと住み続けたい」と考えている方が多くなる傾向にあり、若いほど定住意向が低い傾向が見られる。

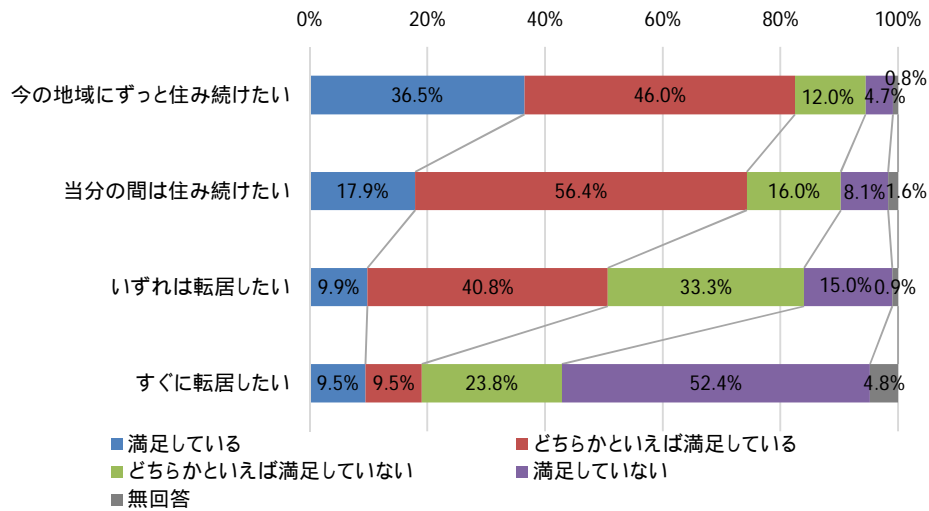
図表 II-4 今後の居留意向 (年齢階層別) (SA・SA)



* 暮らしの満足度と今後の居住意向のクロス集計

転居意向が高くなるほど、暮らしの満足度が低くなる傾向が見られ、すぐに転居したいという方で「満足していない」が52.4%となっている。

図表 II-5 暮らしの満足度（居住意向別）（SA・SA）

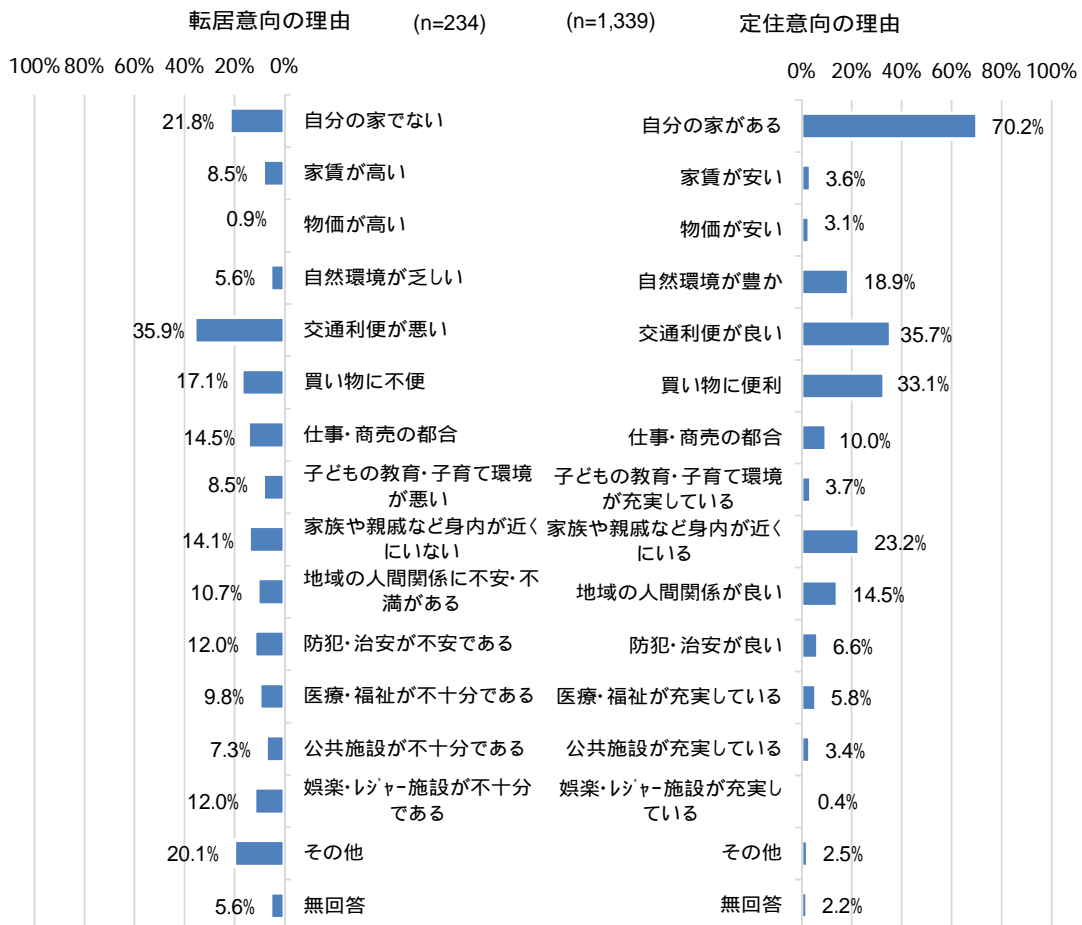


(3.4) 住み続けたいと思う理由・転居したいと思う理由

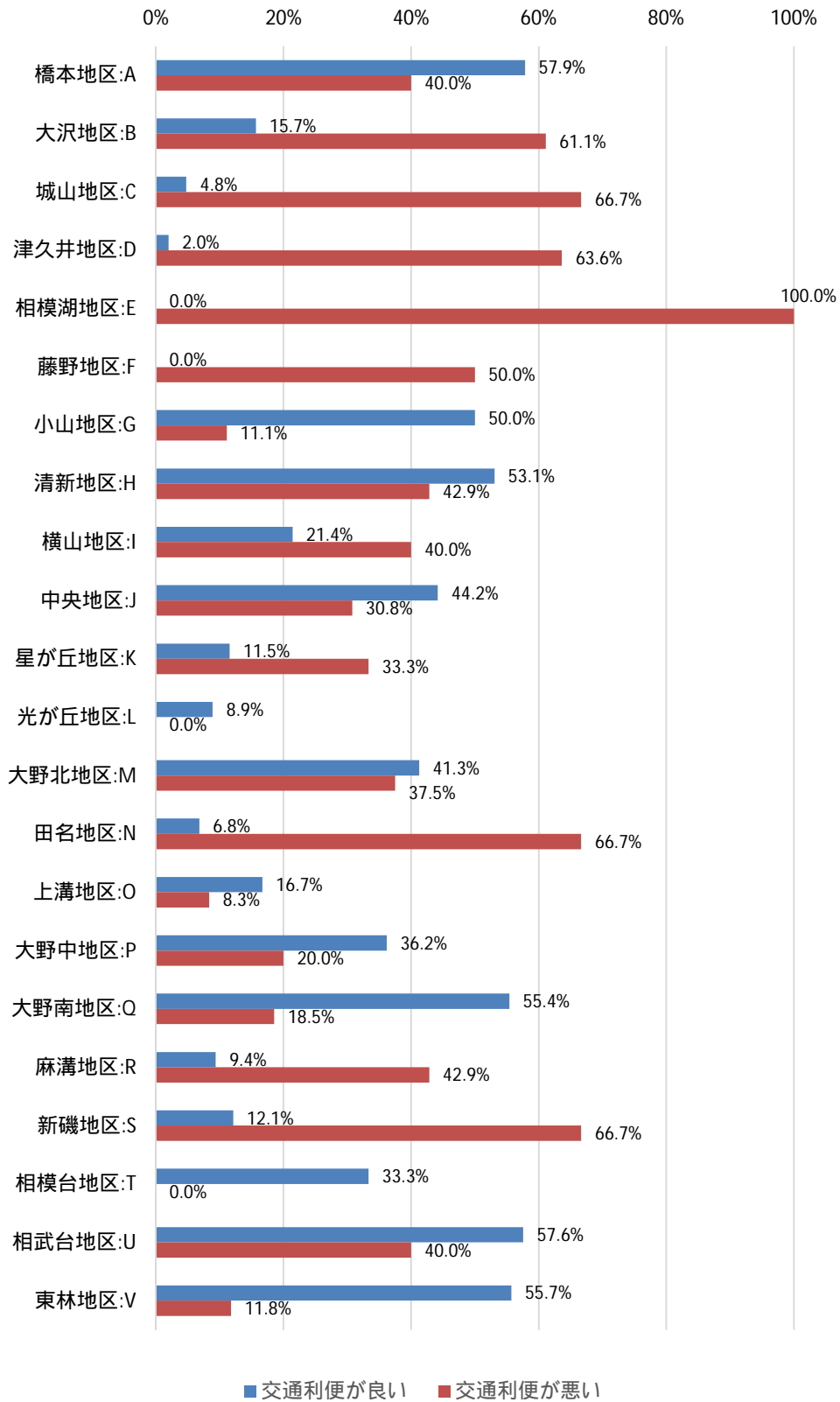
定住意向と転居意向の理由について、両者を比較すると、「自分の家がある」ために定住したいと思う方の割合が高く、「自分の家でない」から転居したいという方の割合も高いため、持家の有無が定住意向の主な要因となっていることが推察される。

一方で、交通利便性については、定住意向の理由として「交通利便が良い」が2番目に高いが、転居意向の理由としては「交通利便が悪い」が最も高くなっている。

図表 II-6 住み続けたいと思う理由と転居したいと思う理由（MA）



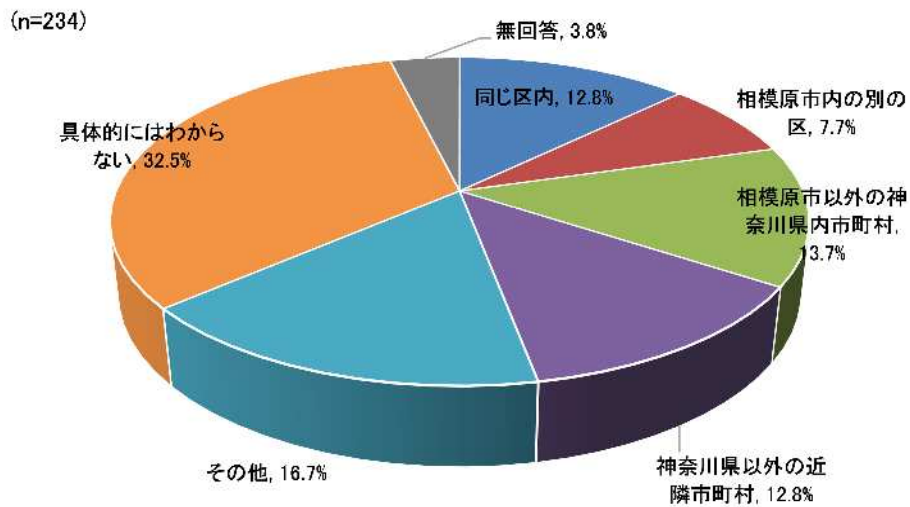
図表II-7 定住意向「交通利便が良い」と転居意向「交通利便が悪い」の比較（居住地別）（MA・SA）



(5) 希望する転居先

希望する転居先は、「具体的にはわからない」が 32.5%で最も多く、次いで「その他」が 16.7%、「相模原市以外の神奈川県内市町村」が 13.7%となっている。

図表11-8 希望する転居先 (S A)



相模原市以外の神奈川県内の市町村の主な意見 (【 】内は件数)

- ・横浜市【 8 】
- ・鎌倉市【 2 】
- ・川崎市【 1 】
- ・厚木市【 1 】 等

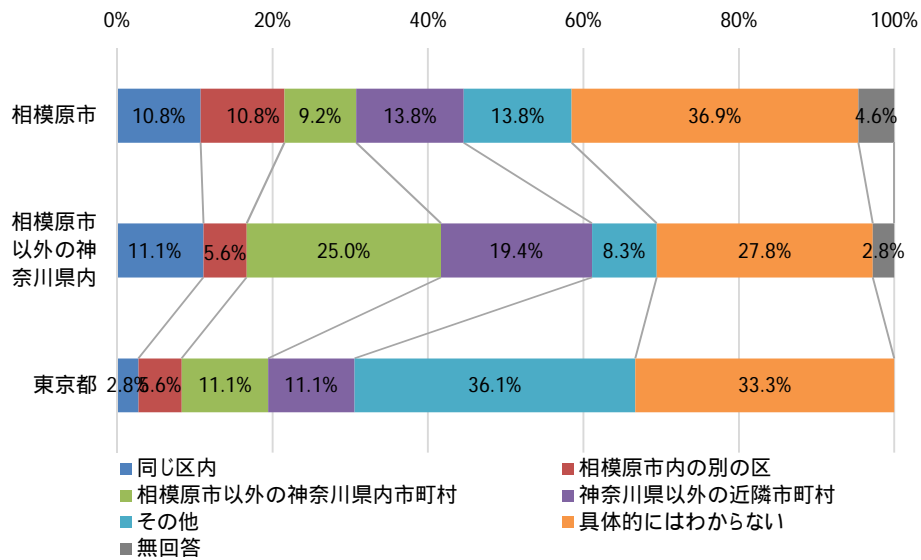
神奈川県以外の近隣市町村の主な意見

- ・東京都【 4 】
- ・八王子市【 1 】 等
- その他の主な意見
- ・東京都 23 区内【 10 】
- ・東京都多摩地域【 3 】
- ・関西【 1 】
- ・九州【 1 】
- ・沖縄【 2 】 等

*勤務地別希望する転居先

勤務地と希望転居先に関係が見られ、神奈川県内勤務者は「相模原市以外の神奈川県内市町村」への転居希望の割合が高く、東京都勤務者は「その他」への転居希望の割合が高くなっている。

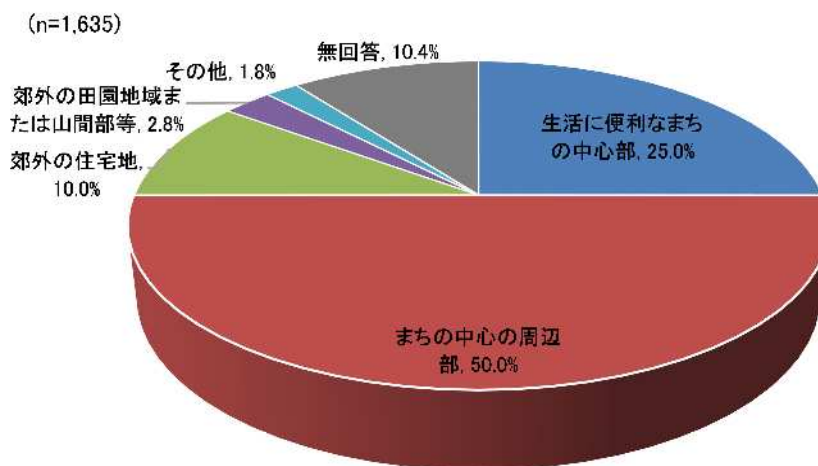
図表II-9 希望する転居先（勤務地別）（SA・SA）



(6) 生活したい場所

生活したい場所は、「まちの中心の周辺部」が50.0%で最も高く、次いで「生活に便利なまちの中心部」が25.0%、「郊外の住宅地」が10.0%となっている。

図表II-10 生活したい場所（SA）

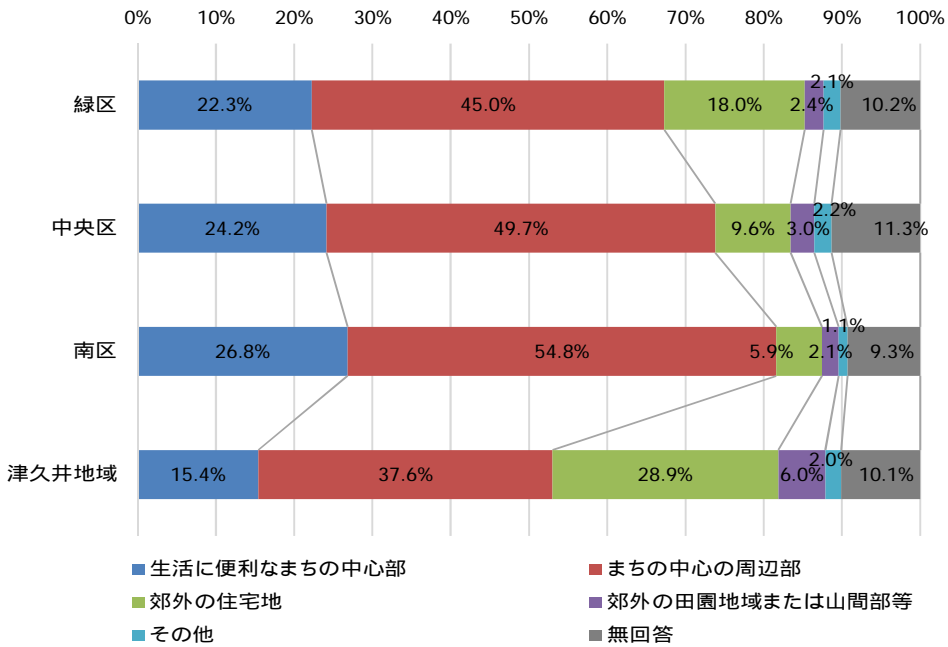


* 居住地区別生活したい場所

南区では「生活に便利なまちの中心部」「まちの中心の周辺部」といった中心地を希望する回答の割合が特に多く、緑区、津久井地域では、郊外住宅地を希望する回答の割合が他地区よりも高くなっている。

注) 津久井地域は緑区の内数。

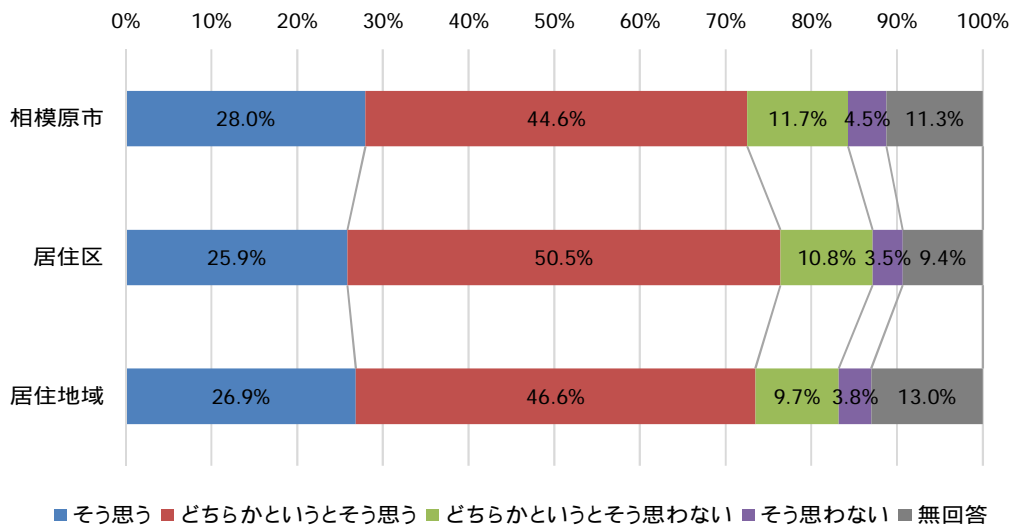
図表II-11 生活したい場所（居住地区別）（SA・SA）



(7) 地域への愛着

相模原市に愛着を感じる、居住区に愛着を感じる、居住地域に愛着を感じる、それぞれ「そう思う」「どちらかというと思う」を併せると7割を越えており、特に、居住区へ愛着を感じている方が「そう思う」が25.9%、「どちらかといえばそう思う」が50.5%で最も高い。

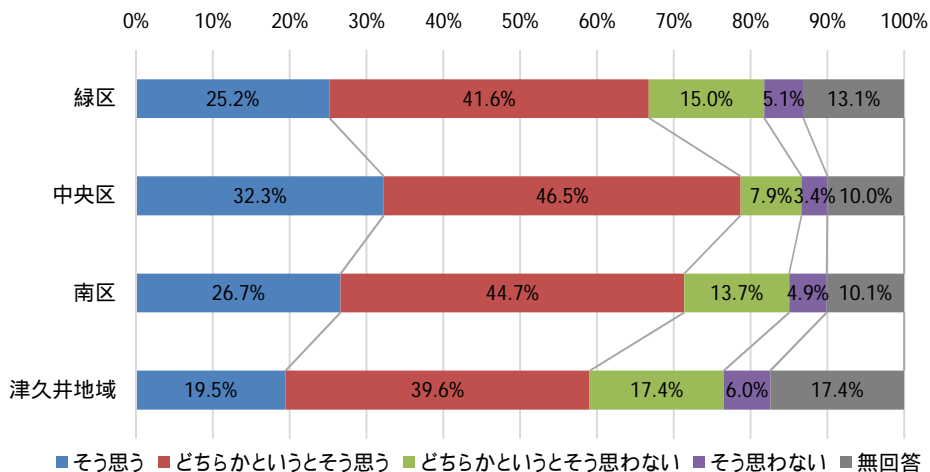
図表II-12 地域への愛着（SA）



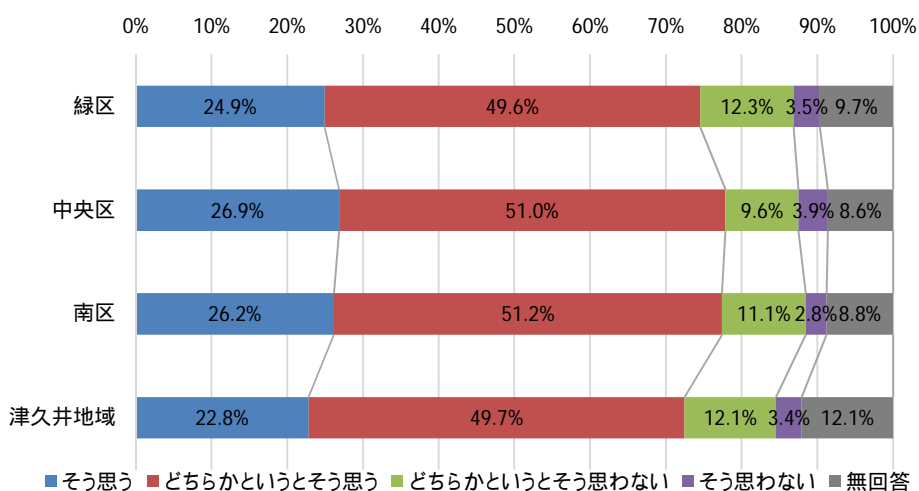
* 居住地区別地域への愛着

地域への愛着については、相模原市、居住区、居住地区それぞれ「そう思う」「どちらかというと思う」といって合わせると70%を越えている。居住区については、政令指定都市に指定されてから行政区が施行されたが、相模原市、居住地区よりも高い愛着となっている。津久井地域居住者の、相模原市、居住区、居住地域に対する愛着は、市と区については「そう思う」が他地区に比べて低くなっているが、居住地域については他地区よりも高くなっており、合併以前の地域区分に対する愛着の高さが推察される。

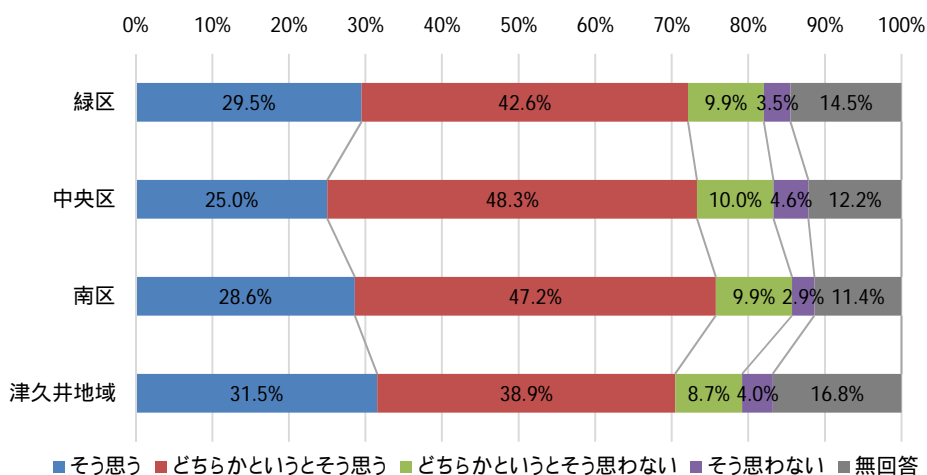
図表II-13 地域への愛着（相模原市）（居住地区別）（SA・SA）



図表II-14 地域への愛着（居住区）（居住地区別）（SA・SA）

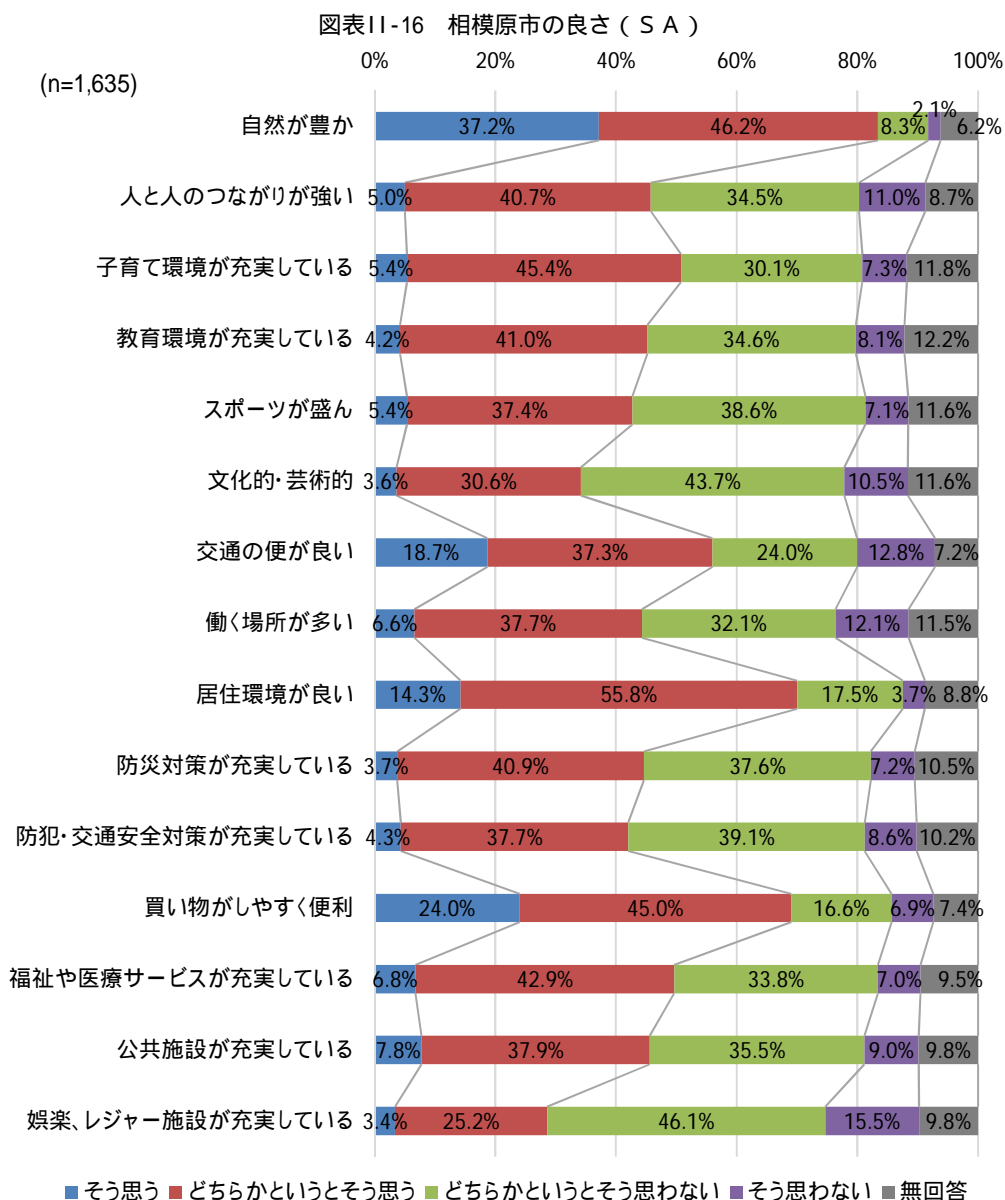


図表II-15 地域への愛着（居住地域）（居住地区別）（SA・SA）



(8) 相模原市の良さ

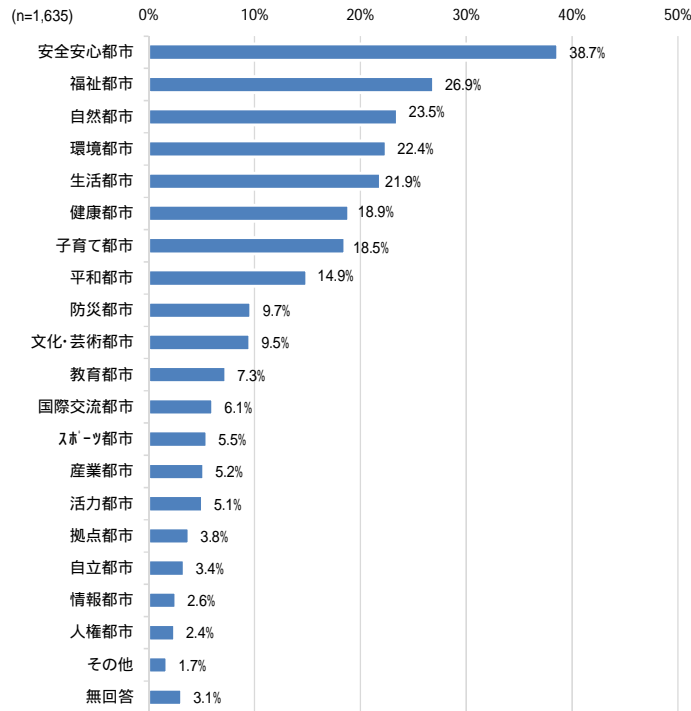
相模原市の良さについては、「そう思う」「どちらかというと思う」を併せると、「自然が豊か」と思うが 83.4%で最も多く、次いで「居住環境が良い」と思うが 70.1%、「買い物しやすい便利」と思うが 69.0%となっている。一方で、「どちらかというと思わない」「そう思わない」を合わせると、「娯楽、レジャー施設が充実している」と思わないが 61.6%、「文化的・芸術的」と思わないが 54.2%、「防犯・交通安全対策が充実している」と思わないが 47.8%となっている。



(9) 目標としたらよいと思う都市像

相模原市が目指すべき都市像は、「安全安心都市」が38.7%で最も多く、次いで、「福祉都市」が26.9%、「自然都市」が23.5%となっている。

図表11-17 目指すべき都市像(MA)



* 年齢階層別目指すべき都市像

ほとんどの年齢階層において、「安全安心都市」が最も高いが、20～29歳では「生活都市」が33.1%で最も高く、30～39歳では「子育て都市」が42.8%と最も高くなっている。

図表11-18 目指すべき都市像(年齢階層別)(ランキング)

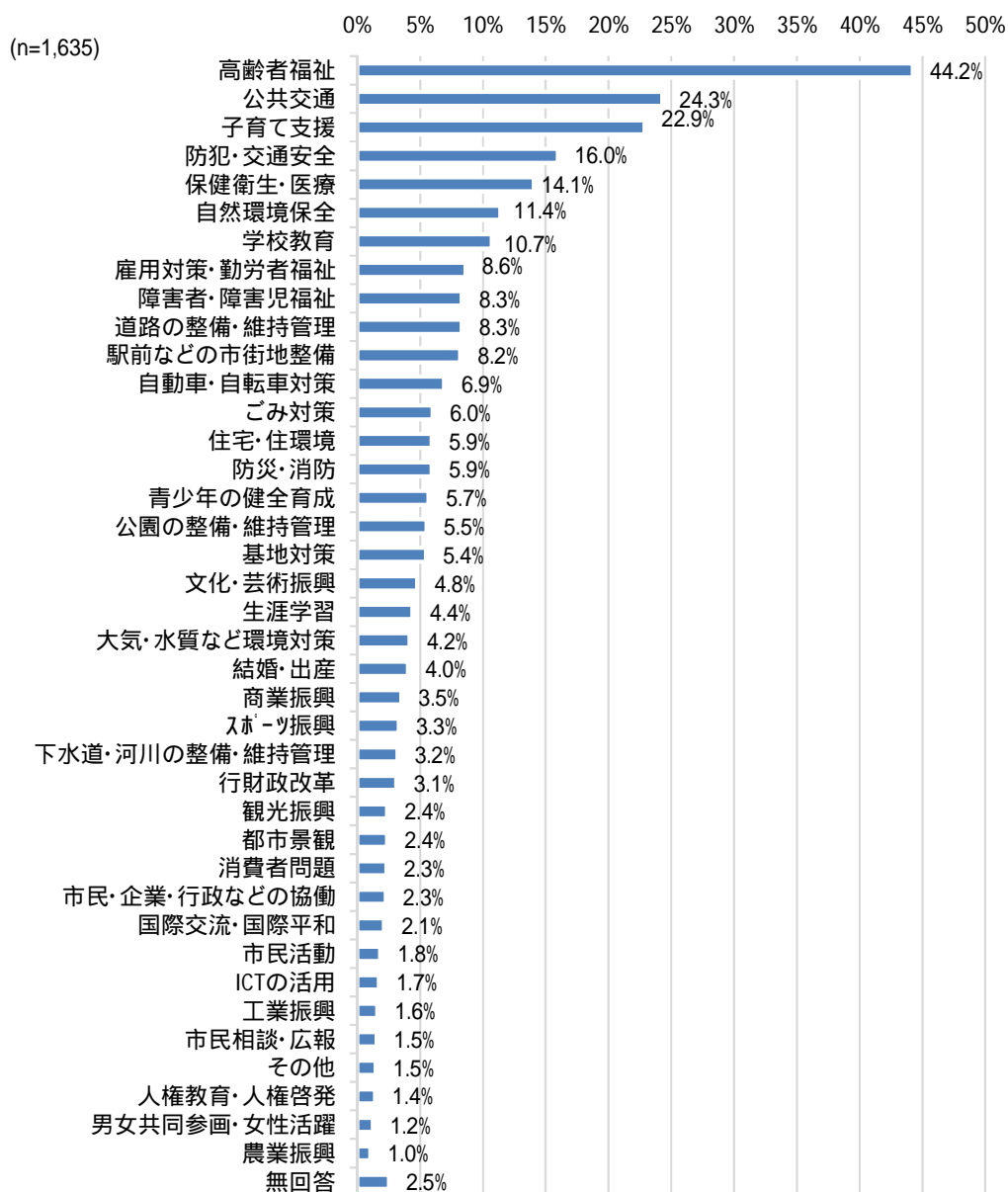
	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
1	安全安心都市	15 (37.5%)	生活都市	39 (33.1%)	子育て都市	80 (42.8%)	安全安心都市	69 (27.9%)
2	自然都市	10 (25.0%)	安全安心都市	37 (31.4%)	安全安心都市	59 (31.6%)	自然都市	68 (27.5%)
3	教育都市	8 (20.0%)	子育て都市	36 (30.5%)	自然都市	55 (29.4%)	子育て都市	64 (25.9%)
4	スポーツ都市	8 (20.0%)	自然都市	34 (28.8%)	生活都市	48 (25.7%)	生活都市	60 (24.3%)
5	国際交流/健康/生活都市	7 (17.5%)	平和都市	29 (24.6%)	福祉都市	25 (13.4%)	福祉都市	49 (19.8%)

	50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体	
1	安全安心都市	87 (35.7%)	安全安心都市	136 (42.5%)	安全安心都市	210 (48.5%)	安全安心都市	632 (38.7%)
2	生活都市	76 (31.1%)	福祉都市	102 (31.9%)	福祉都市	172 (39.7%)	福祉都市	440 (26.9%)
3	福祉都市	63 (25.8%)	環境都市	98 (30.6%)	環境都市	112 (25.9%)	自然都市	384 (23.5%)
4	環境都市	58 (23.8%)	自然都市	68 (21.3%)	健康都市	101 (23.3%)	環境都市	367 (22.4%)
5	自然都市	52 (21.3%)	健康都市	63 (19.7%)	自然都市	87 (20.1%)	生活都市	358 (21.9%)

(10) 今後特に力を入れてほしいこと

市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「高齢者福祉」が 44.2%で最も高く、次いで、「公共交通」が 24.3%、「子育て支援」が 22.9%となっている。

図表II-19 今後特に力を入れてほしいこと (MA)



* 年齢別今後特に力を入れてほしいこと

年齢階層が若いほど、「子育て支援」に力を入れてほしいという意見が多く、年齢階層が高くなるにつれ、「高齢者福祉」に力を入れてほしいという意見が多くなる傾向が見られる。

一方で「公共交通」や「防犯・交通安全」等については、どの年代においても比較的多い傾向が見られる。

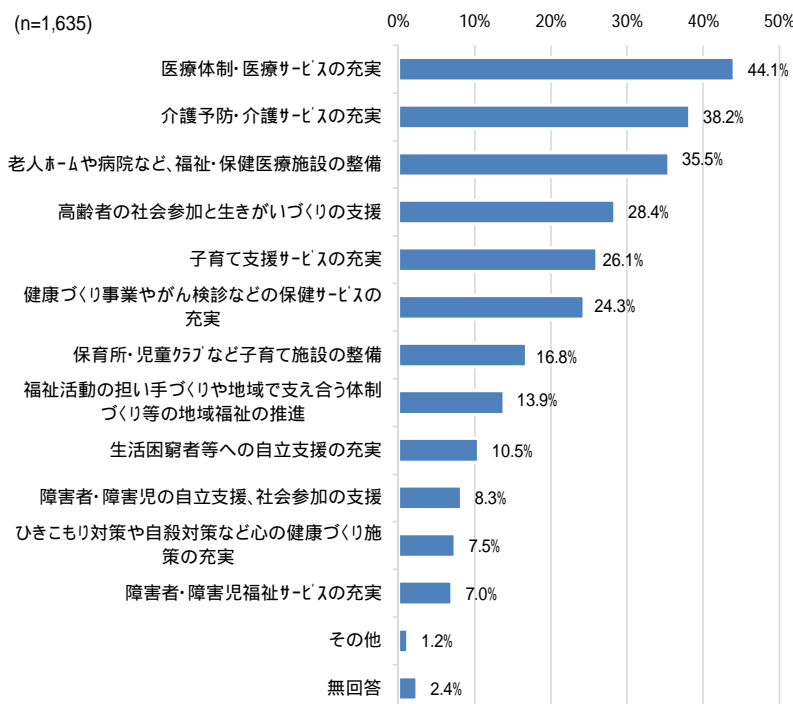
図表 11-20 今後特に力を入れてほしいこと（年齢階層別）（ランキング）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
1	子育て支援 (32.5%)	13	子育て支援 (44.9%)	53	子育て支援 (52.9%)	99	高齢者福祉 (38.5%)	95
2	公共交通 (27.5%)	11	公共交通 (25.4%)	30	学校教育 (25.7%)	48	子育て支援 (27.5%)	68
3	学校教育 (20.0%)	8	防犯・交通安全 (19.5%)	23	公共交通 (20.9%)	39	公共交通 (25.5%)	63
4	防犯・交通安全 (17.5%)	7	結婚・出産 (17.8%)	21	防犯・交通安全 (17.1%)	32	学校教育 (19.0%)	47
5	高齢者福祉/自動車・自転車対策 (15.0%)	6	学校教育 (12.7%)	15	高齢者福祉 (16.0%)	30	保健衛生・医療 (16.6%)	41

	50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体	
1	高齢者福祉 (44.7%)	109	高齢者福祉 (55.0%)	176	高齢者福祉 (64.0%)	277	高齢者福祉 (44.2%)	723
2	公共交通 (24.6%)	60	公共交通 (20.6%)	66	公共交通 (27.5%)	119	公共交通 (24.3%)	397
3	防犯・交通安全 (44.7%)	45	子育て支援 (17.8%)	57	自然環境保全 (9.9%)	70	子育て支援 (22.9%)	374
4	保健衛生・医療 (16.4%)	40	保健衛生・医療 (14.7%)	47	防犯・交通安全 (12.2%)	65	防犯・交通安全 (16.0%)	261
5	雇用対策・勤労者福祉 (16.0%)	39	自然環境保全 (14.1%)	45	保健衛生・医療 (16.2%)	53	保健衛生・医療 (14.1%)	230

(11-1) 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいと思うこと
市に対して、福祉・保健・医療において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「医療体制・医療サービスの充実」が 44.1%で最も高く、次いで、「介護予防・介護サービスの充実」が 38.2%、「老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備」が 35.5%となり、高齢者福祉に関する項目が比較的高くなっている。

図表 11-21 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



* 年齢階層別福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと

20代、30代の子育て世代では、「子育て支援サービスの充実」や「保育所・児童クラブ等子育て施設の整備」といった施策への期待が他の年代に比較して高い傾向が見られる。

図表II-22 福祉・保健・医療において今後特に力を入れてほしいこと(年齢階層別、数値は%)(M・A・S・A)

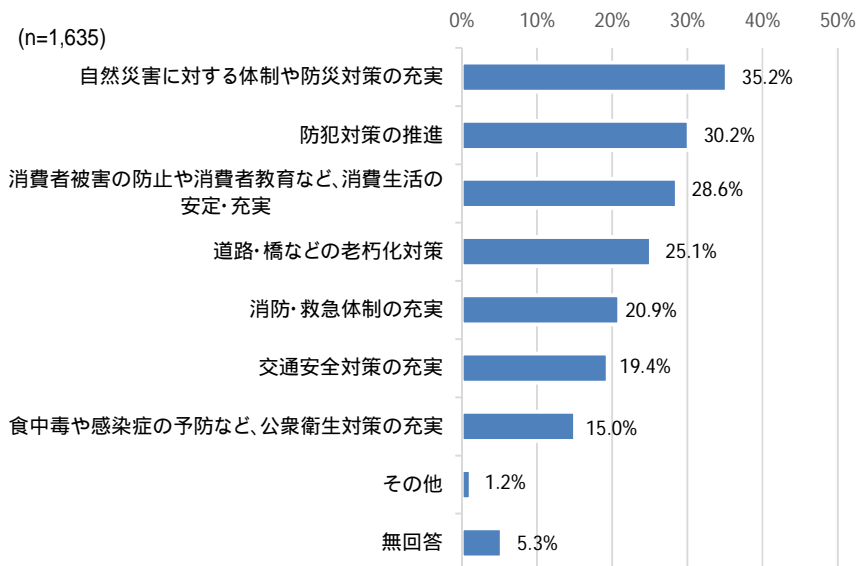
		Q11 今後、特に力を入れてほしいこと:福祉・保健・医療						
		介護予防・ 介護サービス の充実	高齢者の 社会参加 と生きが いづくりの 支援	障害者・障 害児福祉 サービスの 充実	障害者・障 害児の自 立支援、社 会参加の 支援	医療体制・ 医療サービ スの充実	老人ホーム や病院な ど、福祉・ 保健医療 施設の整 備	健康づくり や病院な ど、保健 サービスの 充実
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	17.5	7.5	7.5	5.0	60.0	22.5	17.5
	20～29歳 (n=118)	22.0	8.5	5.9	10.2	37.3	14.4	28.8
	30～39歳 (n=187)	13.4	16.0	6.4	8.6	43.9	16.0	38.0
	40～49歳 (n=247)	43.3	23.1	9.3	9.3	44.9	30.0	27.9
	50～59歳 (n=244)	41.4	31.6	8.2	13.1	47.5	36.1	21.7
	60～64歳 (n=143)	45.5	39.9	5.6	7.0	41.3	38.5	25.2
	65～69歳 (n=177)	44.6	36.2	4.5	6.8	49.7	45.2	19.8
	70～74歳 (n=176)	47.2	39.2	6.3	6.3	42.0	50.0	19.9
	75歳以上 (n=257)	45.5	34.6	7.4	6.2	38.5	47.9	19.1

		子育て支 援サービ スの充実	保育所・児 童クラブな ど子育て 施設の整 備	ひきこもり 対策や自 殺対策な ど心の健 康づくり施 策の充実	生活困窮 者等への 自立支援 の充実	福祉活動 の担い手 づくりや地 域で支え 合う体制 づくり等の 地域福祉 の推進	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	42.5	27.5	20.0	5.0	2.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	51.7	30.5	20.3	14.4	7.6	1.7	0.0
	30～39歳 (n=187)	54.5	42.8	8.0	5.9	7.5	2.7	1.6
	40～49歳 (n=247)	28.7	19.4	7.3	13.0	9.7	1.2	0.0
	50～59歳 (n=244)	17.2	12.7	8.2	11.1	12.3	0.4	2.0
	60～64歳 (n=143)	23.8	14.0	1.4	7.7	11.9	0.0	5.6
	65～69歳 (n=177)	23.7	6.8	3.4	7.3	18.6	1.1	1.7
	70～74歳 (n=176)	10.8	5.1	6.8	17.0	19.3	0.6	1.7
	75歳以上 (n=257)	10.9	6.6	5.4	8.6	22.6	1.6	6.2

(11-2) 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、生活の安全・安心において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「自然災害に対する体制や防災対策の充実」が 35.2%で最も高く、次いで、「防犯対策の推進」が 30.2%、「消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実」が 28.6%となっている。

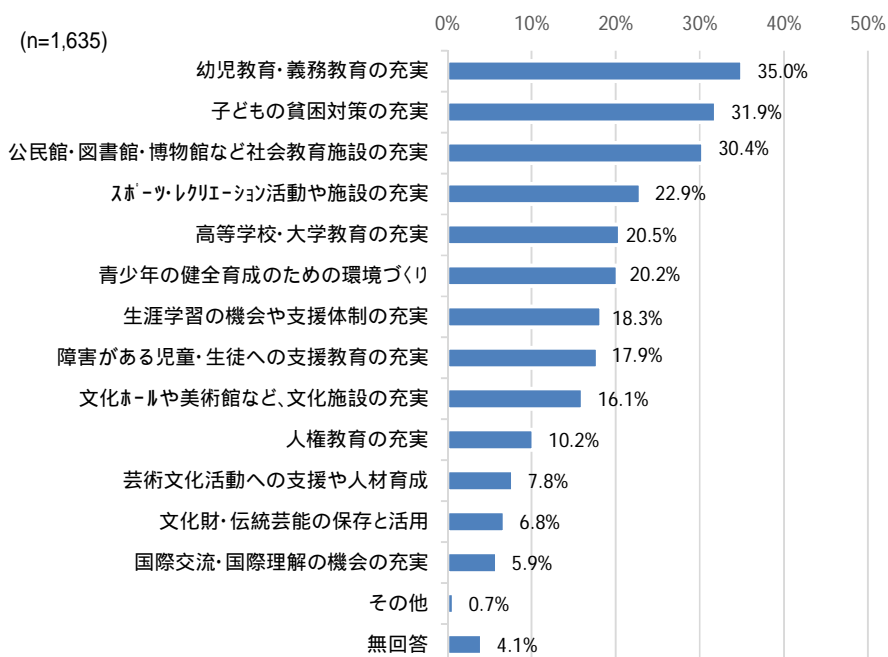
図表11-23 生活の安全・安心において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



(11-3) 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、教育・文化・スポーツにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「幼児教育・義務教育の充実」が 35.0%で最も高く、次いで、「子どもの貧困対策の充実」が 31.9%、「公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実」が 30.4%となっている。

図表11-24 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと（MA）



* 年齢階層別教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと

年齢階層が若いほど、「幼児教育・義務教育の充実」や「高等学校・大学教育の充実」といった学校機関に対する施策に関する施策の割合が高く、年齢階層が高いほど、「子どもの貧困対策の充実」といった施策の割合が高いといった傾向が見られる。

図表II-25 教育・文化・スポーツにおいて今後特に力を入れてほしいこと(年齢階層別、数値は%)(M A・S A)

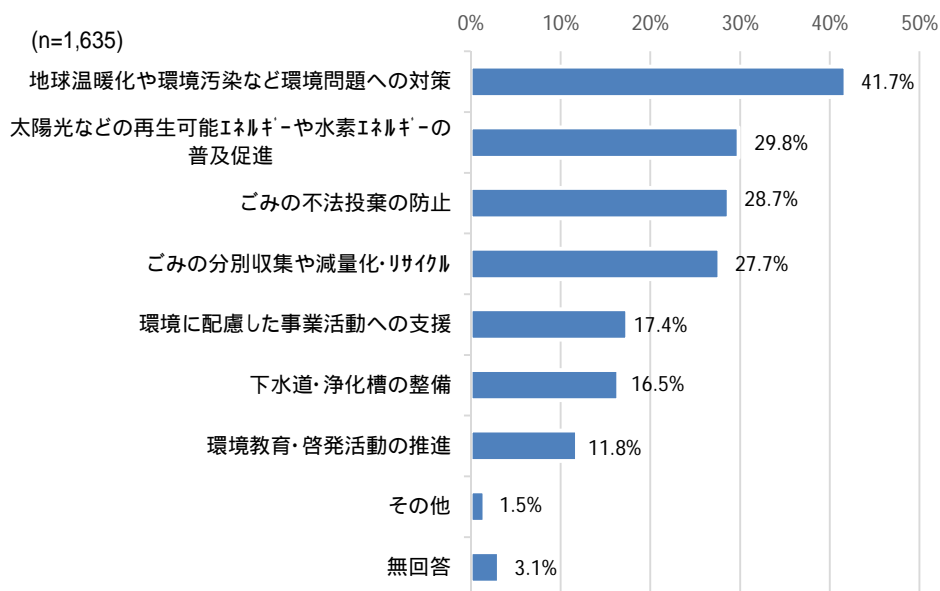
		Q11 今後、特に力を入れてほしいこと教育・文化・スポーツ							
		幼児教育・義務教育の充実	高等学校・大学教育の充実	障害がある児童・生徒への支援教育の充実	子どもの貧困対策の充実	青少年の健全育成のための環境づくり	人権教育の充実	文化ホールや美術館など、文化施設の充実	芸術文化活動への支援や人材育成
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	37.5	55.0	10.0	22.5	7.5	7.5	12.5	2.5
	20～29歳 (n=118)	44.9	23.7	21.2	33.9	9.3	6.8	11.0	11.0
	30～39歳 (n=187)	56.7	33.7	13.9	26.2	19.8	5.9	13.9	5.3
	40～49歳 (n=247)	43.3	32.0	17.0	27.5	14.6	6.5	13.8	10.5
	50～59歳 (n=244)	23.8	17.2	18.9	34.0	17.6	8.2	20.1	5.7
	60～64歳 (n=143)	33.6	13.3	16.1	35.7	21.0	7.7	19.6	7.0
	65～69歳 (n=177)	33.9	13.0	15.3	40.7	25.4	12.4	16.4	10.2
	70～74歳 (n=176)	25.6	10.8	21.0	30.1	25.6	19.9	22.2	5.1
	75歳以上 (n=257)	26.8	13.2	21.8	33.1	25.7	13.6	13.2	8.6

		文化財・伝統芸能の保存と活用	生涯学習の機会や支援体制の充実	公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実	スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実	国際交流・国際理解の機会の充実	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	2.5	42.5	30.0	12.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	6.8	11.0	30.5	25.4	9.3	0.8	0.0
	30～39歳 (n=187)	6.4	8.0	34.2	29.4	8.0	1.1	0.5
	40～49歳 (n=247)	5.7	15.8	26.3	23.1	10.5	0.0	1.2
	50～59歳 (n=244)	7.4	23.0	36.9	24.2	3.7	1.6	2.0
	60～64歳 (n=143)	7.0	28.0	30.1	25.2	5.6	0.0	2.1
	65～69歳 (n=177)	9.0	20.3	22.6	22.6	4.0	0.6	5.6
	70～74歳 (n=176)	6.3	25.6	26.1	23.9	3.4	0.0	6.8
	75歳以上 (n=257)	7.0	18.3	31.9	13.6	3.1	0.8	11.7

(11-4) 環境において今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、環境において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策」が41.7%で最も高く、次いで、「太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進」が29.8%、「ごみの不法投棄の防止」が28.7%となっている。

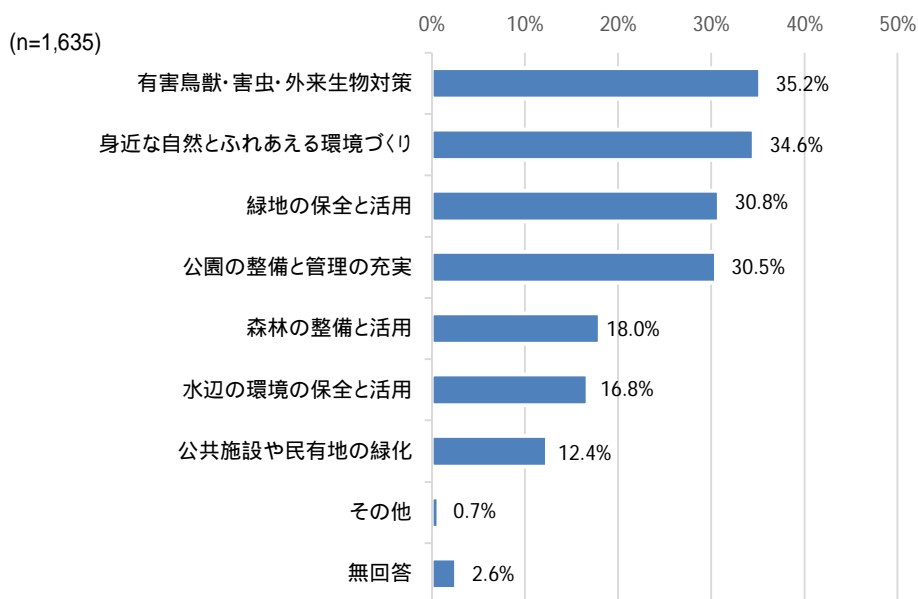
図表11-26 環境において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



(11-5) 水と緑において今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、水と緑において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「有害鳥獣・害虫・外来生物対策」が35.2%で最も高く、次いで、「身近な自然とふれあえる環境づくり」が34.6%、「緑地の保全と活用」が30.8%となっている。

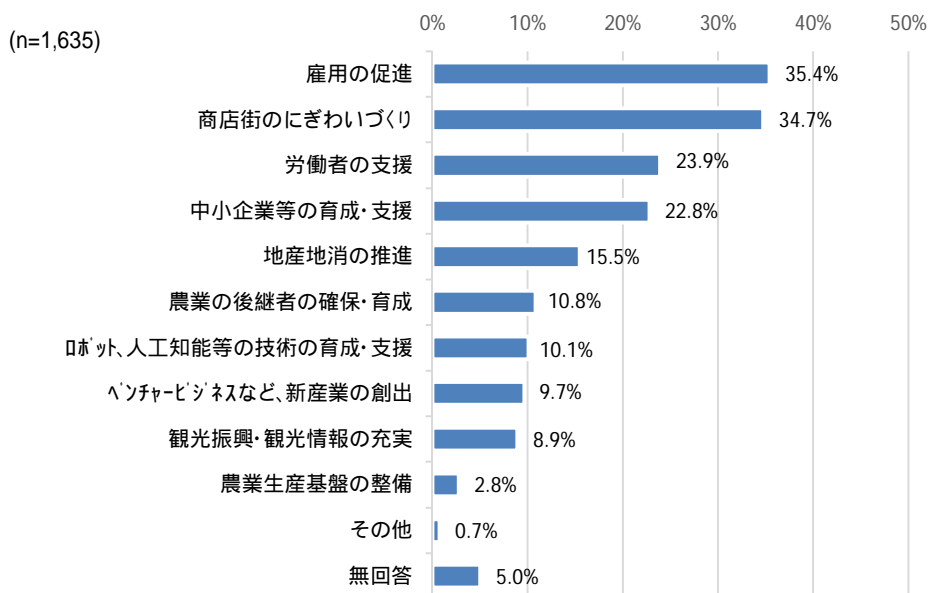
図表11-27 水と緑において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



(11-6) 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、産業・雇用において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「雇用の促進」が35.4%で最も高く、次いで、「商店街のにぎわいづくり」が34.7%、「労働者の支援」が23.9%となっている。

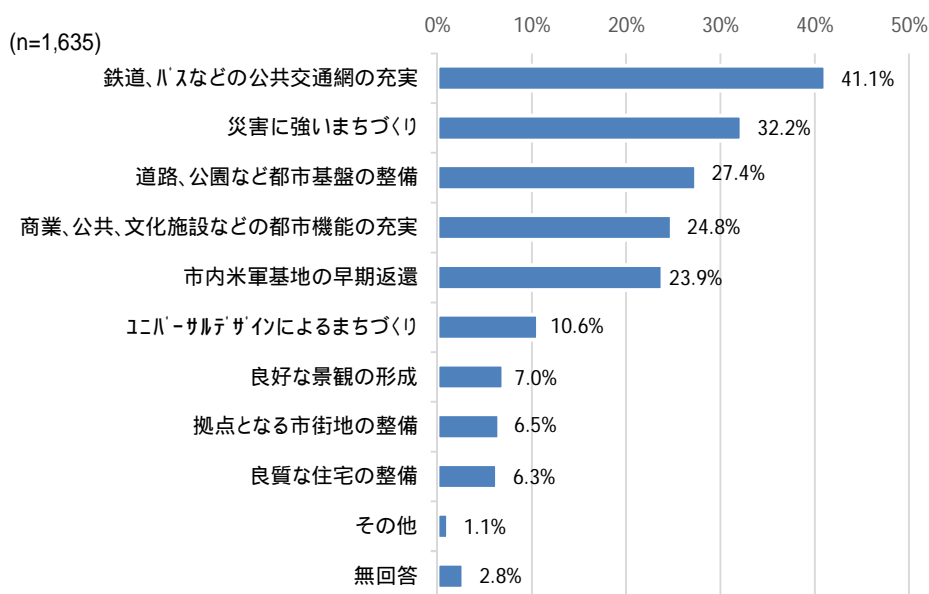
図表11-28 産業・雇用において今後特に力を入れてほしいこと（MA）



(11-7) まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、まちづくりにおいて、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「鉄道、バスなどの公共交通網の充実」が41.1%で最も高く、次いで、「災害に強いまちづくり」が32.2%、「道路、公園など都市基盤の整備」が27.4%となっている。

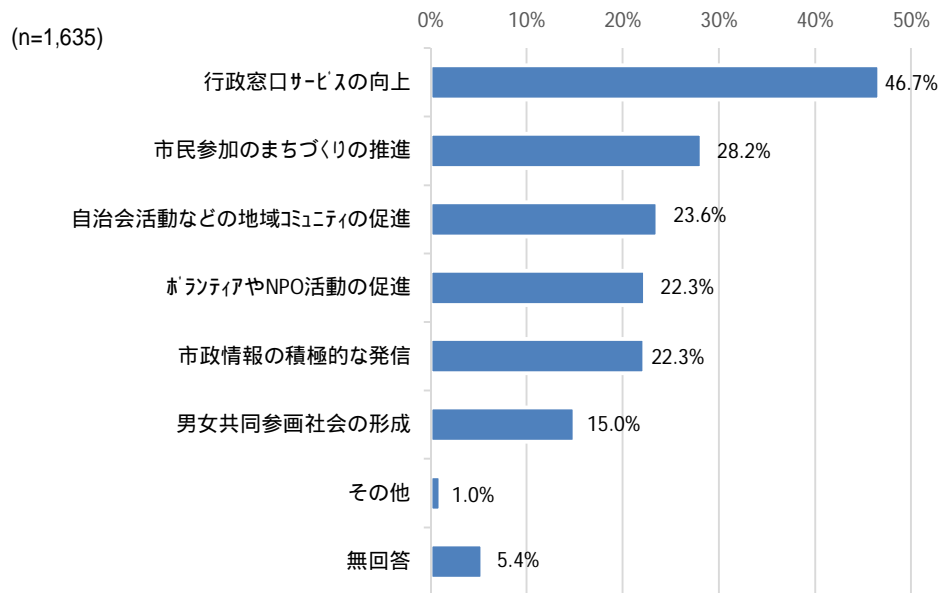
図表11-29 まちづくりにおいて今後特に力を入れてほしいこと（MA）



(11-8) 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいと思うこと

市に対して、市民参加・協働において、今後、特に力を入れてほしいと思うことは、「行政窓口サービスの向上」が46.7%で最も高く、次いで、「市民参加のまちづくりの推進」が28.2%、「自治会活動などの地域コミュニティの促進」が23.6%となっている。

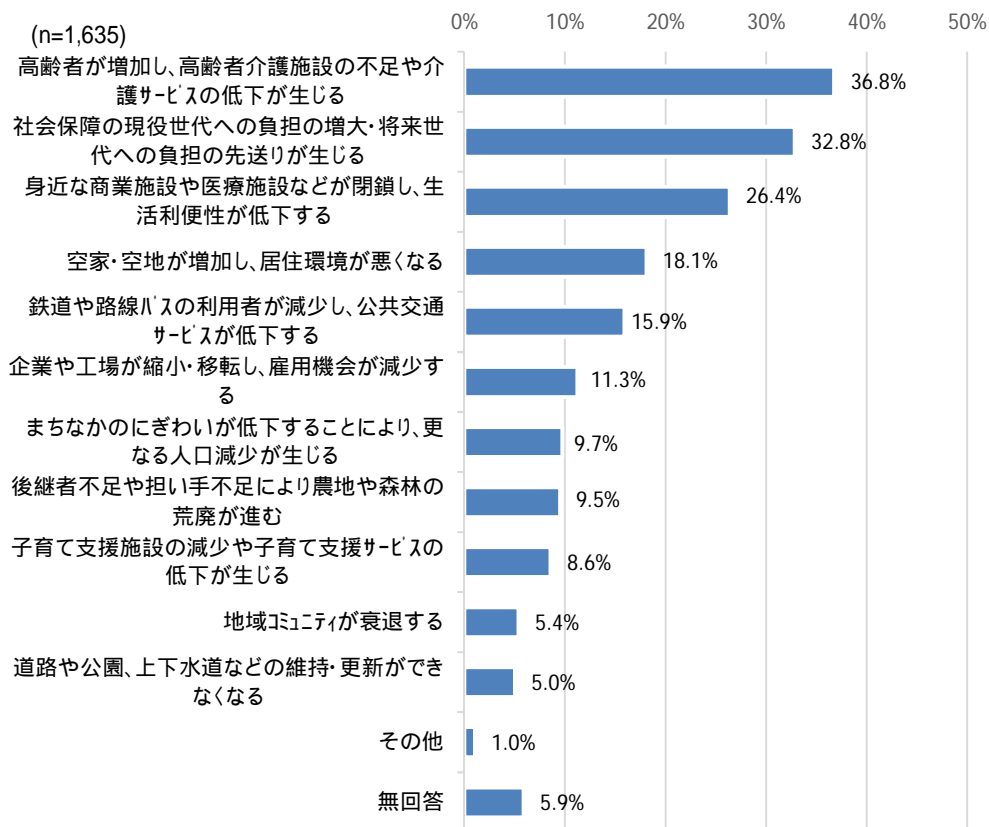
図表11-30 市民参加・協働において今後特に力を入れてほしいこと(MA)



(12) 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うことは、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が36.8%で最も高く、次いで、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が32.8%、「身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する」が26.4%となっている。

図表II-31 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（MA）



* 年齢階層別人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと

年齢階層が若いほど、「社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる」が高く、年齢階層が高いほど、「高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる」が高くなっている。

図表II-32 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと（年齢階層別、数値は%）（MA・SA）

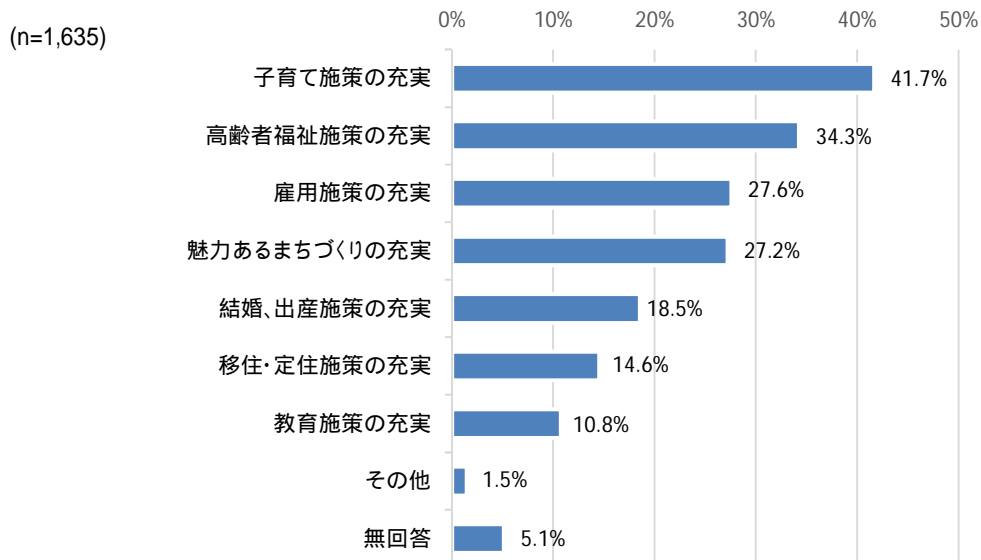
		Q12 人口減少や少子高齢化について特に課題だと思うこと						
		まちなかにぎわいが低下することにより、更なる人口減少が生じる	身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する	企業や工場が縮小・移転し、雇用機会が減少する	鉄道や路線バスの利用者が減少し、公共交通サービスが低下する	空家・空地が増加し、居住環境が悪くなる	地域コミュニティが衰退する	道路や公園、上下水道などの維持・更新ができなくなる
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	5.0	32.5	17.5	12.5	25.0	7.5	7.5
	20～29歳 (n=118)	12.7	22.9	5.1	17.8	10.2	4.2	8.5
	30～39歳 (n=187)	12.3	26.7	10.2	18.2	12.8	3.7	8.0
	40～49歳 (n=247)	11.7	26.7	11.7	16.2	17.4	7.3	6.1
	50～59歳 (n=244)	7.8	31.1	13.9	18.9	14.8	5.7	5.3
	60～64歳 (n=143)	9.1	37.1	15.4	11.2	17.5	3.5	5.6
	65～69歳 (n=177)	11.9	23.2	11.3	18.1	22.0	8.5	4.0
	70～74歳 (n=176)	7.4	23.9	10.8	13.6	22.2	4.5	1.7
	75歳以上 (n=257)	8.2	21.0	10.1	14.0	23.3	4.3	2.3

		高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる	社会保障の現役世代への負担の増大・将来世代への負担の先送りが生じる	子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる	後継者不足や担い手不足により農地や森林の荒廃が進む	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	22.5	30.0	15.0	7.5	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	21.2	43.2	21.2	15.3	2.5	1.7
	30～39歳 (n=187)	18.7	43.9	20.3	4.3	2.7	3.7
	40～49歳 (n=247)	40.5	37.2	6.9	6.9	0.4	2.0
	50～59歳 (n=244)	36.5	34.8	6.6	7.4	0.4	4.1
	60～64歳 (n=143)	44.1	32.2	5.6	7.7	1.4	1.4
	65～69歳 (n=177)	42.4	24.9	4.5	9.6	0.6	6.8
	70～74歳 (n=176)	46.6	25.6	2.8	14.2	0.6	10.2
	75歳以上 (n=257)	41.6	26.8	4.7	13.2	0.4	12.1

(13) 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいことは、「子育て施策の充実」が41.7%で最も高く、次いで、「高齢者福祉施策の充実」が34.3%、「雇用施策の充実」が27.6%となっている。

図表II-33 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと（MA）



* 年齢階層別人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと

年齢階層が若いほど、「子育て施策の充実」や「結婚、出産施策の充実」が高くなっているが、年齢階層が高いほど、「高齢者福祉施策の充実」が高くなっている。

図表II-34 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと(年齢階層別、数値は%) (MA・SA)

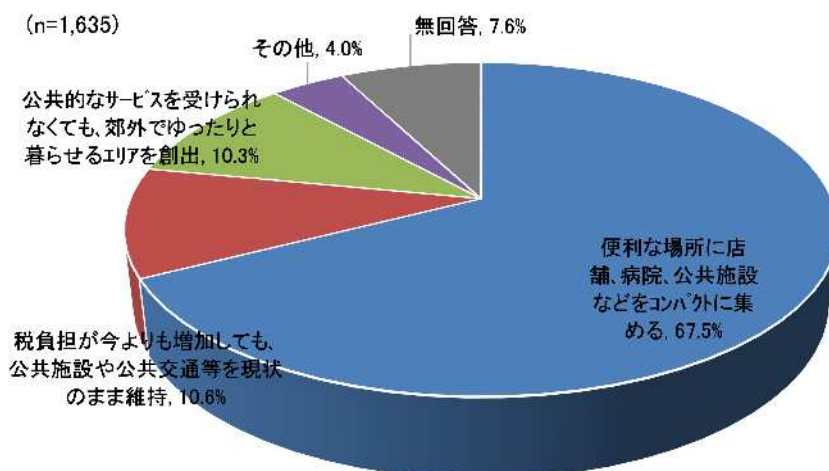
		Q13 人口減少や少子高齢化対策で特に力を入れてほしいこと				
		子育て施策の充実	教育施策の充実	結婚、出産施策の充実	移住・定住施策の充実	雇用施策の充実
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	35.0	25.0	37.5	5.0	35.0
	20～29歳 (n=118)	57.6	11.0	39.0	19.5	16.1
	30～39歳 (n=187)	59.9	20.9	23.0	14.4	22.5
	40～49歳 (n=247)	45.3	15.4	16.2	14.6	34.8
	50～59歳 (n=244)	36.1	10.7	11.5	17.2	31.6
	60～64歳 (n=143)	42.7	9.8	13.3	5.6	33.6
	65～69歳 (n=177)	43.5	5.1	13.6	14.1	27.7
	70～74歳 (n=176)	30.1	5.7	14.2	18.8	28.4
	75歳以上 (n=257)	32.3	5.4	19.5	13.6	20.6

		高齢者福祉施策の充実	魅力あるまちづくりの充実	その他	無回答
F2 年齢	16～19歳 (n=40)	20.0	25.0	2.5	0.0
	20～29歳 (n=118)	18.6	16.9	0.8	1.7
	30～39歳 (n=187)	16.6	25.7	1.6	3.2
	40～49歳 (n=247)	33.6	21.9	2.8	2.0
	50～59歳 (n=244)	40.2	27.5	0.8	4.1
	60～64歳 (n=143)	41.3	30.1	2.1	2.8
	65～69歳 (n=177)	44.1	27.1	1.1	5.1
	70～74歳 (n=176)	38.1	35.8	0.0	8.0
	75歳以上 (n=257)	40.9	32.7	1.6	9.7

(14) 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

人口減少や少子高齢化において行っていくべき都市づくりは、「便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める」が 67.5%で最も高く、次いで、「税負担が今よりも増加しても、公共施設や公共交通等を現状のまま維持」が 10.6%、「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が 10.3%となっている。

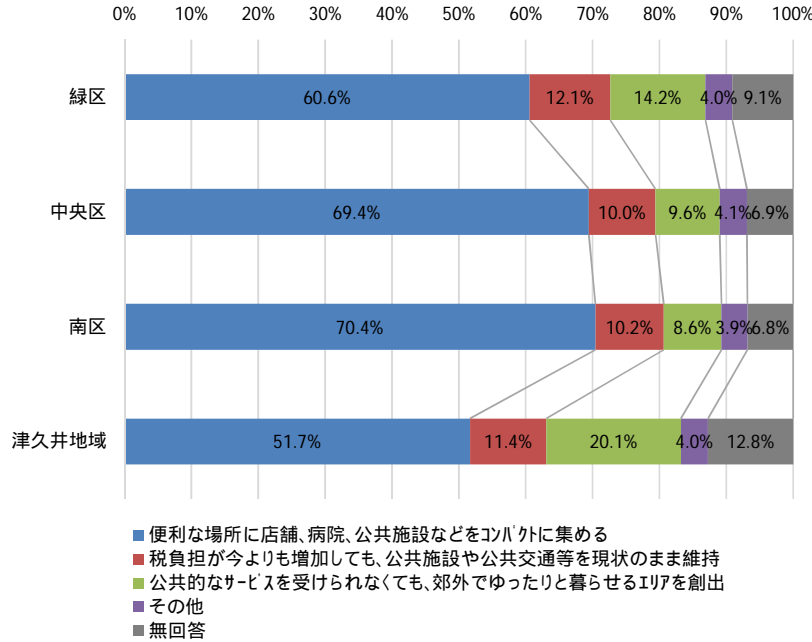
図表II-35 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり (MA)



* 居住地区別人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり

津久井地域において、「公共的なサービスを受けられなくても、郊外でゆったりと暮らせるエリアを創出」が他区と比較してやや高い傾向が見られる。

図表II-36 人口減少や少子高齢化において、行っていくべき都市づくり（居住地区別）（S A・S A）



1 相模原市の市政や次期総合計画の策定についての意見・要望

図表II-37 自由回答意見の分野別意見数

分野	意見数	分野	意見数
高齢者福祉	50	合併に関すること	12
障害者福祉	13	下水道	1
子育て支援	50	都市景観	1
子供の貧困対策	5	公共交通(鉄道・バス)	69
青少年の健全育成	5	道路環境整備	52
少子高齢化に関すること	6	リニア高速新幹線に関すること	19
医療	11	交通安全	12
健康	5	バリアフリー	3
学校教育	18	住宅・住環境	20
生涯学習	5	基地対策	18
スポーツ	10	防犯・治安	16
文化	3	防災・消防	12
大気・水質などの環境対策	1	国際交流・人権・平和	5
ごみ・公害対策	21	行政改革の推進	48
水とみどりの保全	18	情報発信・市民相談	16
獣害対策	5	市民・企業・行政などの協働	15
公園	11	市民活動	8
工業振興・産業支援	7	公共施設	15
都市農業・林業振興	4	税負担	13
観光振興	3	生活保護	5
雇用・勤労者福祉	7	職員の資質に関すること	7
商業振興	5	アンケートに関すること	21
市街地整備	30	その他	45
土地利用	16		

次期総合計画策定のための市民アンケート調査

【調査協力をお願い】

日ごろから、市政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

相模原市では、将来の相模原市をどのようなまちにしていくのかを示す指針となる「新・相模原市総合計画（基本計画）」の計画期間が平成31年度で終了することから、次期総合計画の策定に係る取組を平成29年度から開始いたしました。

本市は、今後、本格的な人口減少や少子高齢化を迎え、歳入は市税収入等の大幅な増加が見込めない一方、歳出は、福祉や医療などの社会保障に係る経費等が増加傾向にあり、引き続き厳しい財政状況が見込まれております。

そのような中におきましても、全ての市民の皆様が安全で安心して心豊かに暮らせる社会を実現するため、本アンケート調査を通じて市民の皆様からご意見をいただき、次期総合計画の策定を進める上での基礎資料とさせていただきたいと考えております。

本調査は、住民基本台帳に記載された16歳以上の市民の皆様の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただき、無記名で回答していただくものです。

調査結果は、「この意見の方は全体の何%」という統計的な形で報告書としてまとめますので、回答された方が特定されることはありませんし、調査目的以外に利用することもありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年9月

相模原市長 加山俊夫

ご記入に当たってのお願い

ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

ご回答に当たっては、該当する番号に 印をつけてください。

この調査票は**平成29年10月16日(月)**までに同封の返信用封筒に入れてご返送ください（切手を貼る必要はありません）。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】相模原市 企画財政局 企画部 企画政策課

〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号

TEL (042)769-8203 FAX (042)757-5727

Eメール kikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

はじめに、あなたについておうかがいいたします。

F1 あなたの性別を次の中からお選びください。(は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F2 あなたの年齢を次の中からお選びください。(は1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 6. 60～64歳 |
| 2. 20～29歳 | 7. 65～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 8. 70～74歳 |
| 4. 40～49歳 | 9. 75歳以上 |
| 5. 50～59歳 | |

F3 あなたは、相模原市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 2. 1～5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5～10年未満 | |

F4 あなたの職業は次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。(は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 事業主 | 5. 専業主婦・主夫 |
| 2. 自由業 | 6. 学生 |
| 3. 会社員、公務員、団体職員 | 7. 無職 |
| 4. パート、アルバイト | 8. その他() |

(F4で「1 事業主」「2 自由業」「3 会社員、公務員、団体職員」「4 パート、アルバイト」とお答えの方に)

F4-1 あなたの勤務地はどちらですか。次の中からお選びください。(は1つだけ)

(2つ以上の勤務地をお持ちの方は主なものを1つだけお選びください。)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 相模原市 | 3. 東京都 |
| 2. 1以外の神奈川県内 | 4. その他() |

F5 現在、あなたが同居している家族の構成は次のどれですか。次の中からお選びください。(あなたを含めてお答えください。)(は1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 単身 | 4. 祖父母と親と子(3世代) |
| 2. 夫婦だけ | 5. その他() |
| 3. 親と子(2世代) | |

F6 現在、一緒に住んでいる方で、小中学生以下の子どもや 65 歳以上の方はいらっしゃいますか。次の中からいらっしゃる方すべてをお選びください。(あなたを除いてお答えください。)

- | | | | |
|----------|----------|-------------|--------|
| 1. 小学生未満 | 2. 小・中学生 | 3. 65 歳以上の方 | 4. いない |
|----------|----------|-------------|--------|

F7 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。次の中からお選びください。(は 1 つだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 持家一戸建 |
| 2. 持家共同住宅(分譲マンションなど) |
| 3. 民間の賃貸一戸建 |
| 4. 民間の賃貸共同住宅(民間アパート・マンションなど) |
| 5. 公団、公社、公営住宅 |
| 6. 社宅、官舎、寮等 |
| 7. その他() |

F8 封筒のあて名の右に記載された記号は、あなたのお住まいの地域を表しています。その番号を次の中からお選びください。(は 1 つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 橋本地区:A | 9. 横山地区:I | 17. 大野南地区:Q |
| 2. 大沢地区:B | 10. 中央地区:J | 18. 麻溝地区:R |
| 3. 城山地区:C | 11. 星が丘地区:K | 19. 新磯地区:S |
| 4. 津久井地区:D | 12. 光が丘地区:L | 20. 相模台地区:T |
| 5. 相模湖地区:E | 13. 大野北地区:M | 21. 相武台地区:U |
| 6. 藤野地区:F | 14. 田名地区:N | 22. 東林地区:V |
| 7. 小山地区:G | 15. 上溝地区:O | |
| 8. 清新地区:H | 16. 大野中地区:P | |

設問に沿ってお答えください。

問1 あなたは現在の暮らしに満足していますか。次の中から1つお選びください。(は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. 満足していない |

問2 あなたは、現在お住まいの地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つお選びください。(は1つだけ) *地域とは、……F 8でお答えいただいた地域

- | | | | |
|-------------------|-------|--------------|-------|
| 1. 今の地域にずっと住み続けたい | } 問3へ | 3. いずれは転居したい | } 問4へ |
| 2. 当分の間は住み続けたい | | 4. すぐに転居したい | |

問2で「1.2」と回答した方(住み続けたいとお答えの方)におうかがいたします。

問3 問2で「1 今の地域にずっと住み続けたい」あるいは「2 当分の間は住み続けたい」とお答えの方にお聞きます。住み続けたいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。(は3つまで)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 自分の家(土地)がある | 8. 子どもの教育・子育て環境が充実している |
| 2. 家賃(地代)が安い | 9. 家族や親戚など身内が近くにいる |
| 3. 物価が安い | 10. 地域の人間関係が良い |
| 4. 自然環境が豊か | 11. 防犯・治安が良い |
| 5. 交通利便が良い | 12. 医療・福祉が充実している |
| 6. 買い物に便利 | 13. 公共施設が充実している |
| 7. 仕事・商売の都合 | 14. 娯楽・レジャー施設が充実している |
| | 15. その他() |

問6へ

問2で「3.4」と回答した方(転居したいとお答えの方)におうかがいたします。

問4 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。転居したいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。(は3つまで)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 自分の家(土地)でない | 8. 子どもの教育・子育て環境が悪い |
| 2. 家賃(地代)が高い | 9. 家族や親戚など身内が近くにいない |
| 3. 物価が高い | 10. 地域の人間関係に不安・不満がある |
| 4. 自然環境が乏しい | 11. 防犯・治安が不安である |
| 5. 交通利便が悪い | 12. 医療・福祉が不十分である |
| 6. 買い物に不便 | 13. 公共施設が不十分である |
| 7. 仕事・商売の都合 | 14. 娯楽・レジャー施設が不十分である |
| | 15. その他() |

問5へ

問2で「3.4」と回答した方（転居したいとお答えの方）におうかがいたします。

問5 問2で「3 いずれは転居したい」あるいは「4 すぐに転居したい」とお答えの方にお聞きます。どこに転居したいと思いますか。次の中から1つお選びください。（は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 同じ区内（緑区・中央区・南区） |
| 2. 相模原市内の別の区（特定の地域があれば） |
| 3. 相模原市以外の神奈川県内市町村（特定の自治体があれば） |
| 4. 神奈川県以外の近隣市町村（特定の自治体があれば） |
| 5. その他（特定の自治体があれば） |
| 6. 具体的にはわからない |

問6へ

問6 あなたは、どのような場所で生活したいと思いますか。次の中から1つお選びください。（は1つだけ）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 生活に便利なまちの中心部（交通利便性の高い鉄道駅直近） |
| 2. まちの中心の周辺部（駅まで歩いていける（概ね1.0km）範囲） |
| 3. 郊外の住宅地（駅までバスまたは車で移動する場所） |
| 4. 郊外の田園地域または山間部等（主な移動手段が自家用車である場所） |
| 5. その他（） |

問7 あなたは、（ア）～（ウ）の区域について愛着を感じていますか。次の中でもっとも近いものをお選びください。

	そ う 思 う	そ ど う 思 う か と い う と	そ ど う 思 わ な い い う と	そ う 思 わ な い			
（ア）相模原市	1	...	2	...	3	...	4
（イ）お住まいの区（緑区・中央区・南区）	1	...	2	...	3	...	4
（ウ）お住まいの地域	1	...	2	...	3	...	4

問8 あなたは、(ア)～(ソ)の相模原市の良さについて、どのように感じていますか。次の中でもっとも近いものをお選びください。

	そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い			
(ア) 自然が豊か	1	...	2	...	3	...	4
(イ) 人と人のつながりが強い	1	...	2	...	3	...	4
(ウ) 子育て環境が充実している	1	...	2	...	3	...	4
(エ) 教育環境が充実している	1	...	2	...	3	...	4
(オ) スポーツが盛ん	1	...	2	...	3	...	4
(カ) 文化的・芸術的	1	...	2	...	3	...	4
(キ) 交通の便が良い	1	...	2	...	3	...	4
(ク) 働く場が多い	1	...	2	...	3	...	4
(ケ) 居住環境が良い	1	...	2	...	3	...	4
(コ) 防災対策が充実している	1	...	2	...	3	...	4
(サ) 防犯・交通安全対策が充実している	1	...	2	...	3	...	4
(シ) 買い物がしやすく便利	1	...	2	...	3	...	4
(ス) 福祉や医療サービスが充実している	1	...	2	...	3	...	4
(セ) 公共施設が充実している	1	...	2	...	3	...	4
(ソ) 娯楽、レジャー施設が充実している	1	...	2	...	3	...	4

問9 あなたは、市が将来どのような都市（キャッチコピーをつけるとしたら）を目指したらよいと思いますか。次の中から3つ以内でお選びください。（は3つまで）

1. 国際交流都市	11. 生活都市
2. 文化・芸術都市	12. 人権都市
3. 環境都市	13. 自立都市
4. 平和都市	14. 自然都市
5. 安全安心都市	15. 情報（ICT）都市
6. 活力都市	16. 教育都市
7. 健康都市	17. 子育て都市
8. 福祉都市	18. スポーツ都市
9. 産業都市	19. 防災都市
10. 拠点都市	20. その他()

問 10 あなたが市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から3つ以内でお選びください。
(は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 高齢者福祉 | 21. 公共交通(鉄道、バス) |
| 2. 障害者・障害児福祉 | 22. 自動車・自転車対策 |
| 3. 保健衛生・医療 | 23. 道路の整備・維持管理 |
| 4. 子育て支援 | 24. 下水道・河川の整備・維持管理 |
| 5. 結婚・出産 | 25. 都市景観 |
| 6. 学校教育 | 26. 住宅・住環境 |
| 7. 生涯学習 | 27. 基地対策 |
| 8. 青少年の健全育成 | 28. 防犯・交通安全 |
| 9. 人権教育・人権啓発 | 29. 防災・消防 |
| 10. 男女共同参画・女性活躍 | 30. 消費者問題 |
| 11. 大気・水質など環境対策 | 31. 市民活動(ボランティア、NPO) |
| 12. ごみ対策 | 32. 文化・芸術振興 |
| 13. 自然環境保全 | 33. スポーツ振興 |
| 14. 公園の整備・維持管理 | 34. 市民相談・広報 |
| 15. 工業振興 | 35. 国際交流・国際平和 |
| 16. 農業振興 | 36. 市民・企業・行政などの協働 |
| 17. 商業振興 | 37. 行財政改革 |
| 18. 観光振興 | 38. ICT(情報通信技術)の活用 |
| 19. 雇用対策・勤労者福祉 | 39. その他() |
| 20. 駅前などの市街地整備 | |

問 11 あなたが各分野(~)において市に対して、今後、特に力を入れてほしいと思うことをお選びください。

【 福祉・保健・医療】

次の中から3つ以内でお選びください。(は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 介護予防・介護サービスの充実 | 8. 子育て支援サービスの充実 |
| 2. 高齢者の社会参加と生きがいづくりの支援 | 9. 保育所・児童クラブなど子育て施設の整備 |
| 3. 障害者・障害児福祉サービスの充実 | 10. ひきこもり対策や自殺対策など心の健康づくり施策の充実 |
| 4. 障害者・障害児の自立支援、社会参加の支援 | 11. 生活困窮者等への自立支援の充実 |
| 5. 医療体制・医療サービスの充実 | 12. 福祉活動の担い手づくりや地域で支え合う体制づくりなどの地域福祉の推進 |
| 6. 老人ホームや病院など、福祉・保健医療施設の整備 | 13. その他() |
| 7. 健康づくり事業やがん検診などの保健サービスの充実 | |

【 生活の安全・安心】

次の中から 2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 消費者被害の防止や消費者教育など、消費生活の安定・充実 | 5. 消防・救急体制の充実 |
| 2. 食中毒や感染症の予防など、公衆衛生対策の充実 | 6. 防犯対策の推進 |
| 3. 道路・橋などの老朽化対策 | 7. 交通安全対策の充実 |
| 4. 自然災害に対する体制や防災対策の充実 | 8. その他() |

【 教育・文化・スポーツ】

次の中から 3つ以内でお選びください。(は3つまで)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 幼児教育・義務教育(小中学校)の充実 | 8. 芸術文化活動への支援や人材育成 |
| 2. 高等学校・大学教育の充実 | 9. 文化財・伝統芸能の保存と活用 |
| 3. 障害がある児童・生徒への支援教育の充実 | 10. 生涯学習の機会や支援体制の充実 |
| 4. 子どもの貧困対策の充実 | 11. 公民館・図書館・博物館など社会教育施設の充実 |
| 5. 青少年の健全育成のための環境づくり | 12. スポーツ・レクリエーション活動や施設の充実 |
| 6. 人権教育の充実 | 13. 国際交流・国際理解の機会の充実 |
| 7. 文化ホールや美術館など、文化施設の充実 | 14. その他() |

*子どもの貧困対策・・・貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図ることを目的とする施策

【 環境】

次の中から 2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 地球温暖化や環境汚染など環境問題への対策 | 5. ごみの分別収集や減量化・リサイクル |
| 2. 環境教育・啓発活動の推進 | 6. ごみの不法投棄の防止 |
| 3. 環境に配慮した事業活動への支援 | 7. 下水道・浄化槽の整備 |
| 4. 太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの普及促進 | 8. その他() |

【 水と緑】

次の中から 2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 緑地の保全と活用 | 5. 森林の整備と活用 |
| 2. 水辺の環境の保全と活用 | 6. 公共施設や民有地の緑化 |
| 3. 公園の整備と管理の充実 | 7. 有害鳥獣・害虫・外来生物対策 |
| 4. 身近な自然とふれあえる環境づくり | 8. その他() |

【 産業・雇用】

次の中から2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ベンチャービジネスなど、新産業の創出 | 7. 雇用の促進 |
| 2. ロボット、人工知能等の技術の育成・支援 | 8. 農業生産基盤(農道・用水路など)の整備 |
| 3. 中小企業等の育成・支援 | 9. 農業の後継者の確保・育成 |
| 4. 商店街のにぎわいづくり | 10. 地産地消の推進 |
| 5. 観光振興・観光情報の充実 | 11. その他() |
| 6. 労働者の支援 | |

【 まちづくり】

次の中から2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 道路、公園など都市基盤の整備 | 6. 良質な住宅の整備 |
| 2. 商業、公共、文化施設などの都市機能の充実 | 7. 良好な景観の形成 |
| 3. 鉄道、バスなどの公共交通網の充実 | 8. ユニバーサルデザインによるまちづくり |
| 4. 災害に強いまちづくり | 9. 市内米軍基地の早期返還 |
| 5. 拠点となる市街地の整備 | 10. その他() |

*ユニバーサルデザインとは・・・障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、すべての人々が利用しやすいよう、製品、建物、環境などをデザインする考え方

【 市民参加・協働】

次の中から2つ以内でお選びください。(は2つまで)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. ボランティアやNPO活動の促進 | 5. 男女共同参画社会の形成 |
| 2. 自治会活動などの地域コミュニティの促進 | 6. 市政情報の積極的な発信 |
| 3. 市民参加のまちづくりの推進 | 7. その他() |
| 4. 行政窓口サービスの向上 | |

*男女共同参画社会とは・・・男女が、互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を發揮できる社会

本市の人口は、少子高齢化の進行の影響により、平成31年の73万人をピークに減少に転じ、平成72年には、ピーク時の3/4程度である約54万人まで減少すると予測しております。

問12 人口減少や少子高齢化が進行することにより起こりうると想定される課題の中で、あなたが特に課題だと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。（は2つまで）

1. まちなかのにぎわいが低下することにより、更なる人口減少が生じる。
2. 身近な商業施設や医療施設などが閉鎖し、生活利便性が低下する。
3. 企業や工場が縮小・移転し、雇用機会が減少する。
4. 鉄道や路線バスの利用者が減少し、運行本数が少なくなるなど公共交通サービスが低下する。
5. 空家・空地が増加し、居住環境が悪くなる。
6. 地域コミュニティが衰退する。
7. 道路や公園、上下水道などの維持・更新ができなくなる。
8. 高齢者が増加し、高齢者介護施設の不足や介護サービスの低下が生じる。
9. 医療や介護などの社会保障に係る、現役世代への負担の増大及び将来世代への負担の先送りが生じる。
10. 子育て支援施設の減少や子育て支援サービスの低下が生じる。
11. 後継者不足や担い手不足により農地や森林の荒廃が進む。
12. その他（ ）

問13 人口減少や少子高齢化対策として、今後、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。（は2つまで）

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 子育て施策の充実 | 5. 雇用施策の充実 |
| 2. 教育施策の充実 | 6. 高齢者福祉施策の充実 |
| 3. 結婚、出産施策の充実 | 7. 魅力あるまちづくりの充実 |
| 4. 移住・定住施策の充実 | 8. その他（ ） |

問14 人口減少や少子高齢化においては、税収の減少や社会保障費の増大等により財政経営が一層厳しくなる一方、一定の人口密度が保てなくなることにより、スーパーなどの商業施設の閉鎖や、これまでの行政サービスの維持が難しくなるなどの課題が考えられる中で、どのような都市づくりを行っていくべきだと思いますか。

次の中から1つをお選びください。（は1つだけ）

1. 今後の変化に柔軟に対応していくため、施設規模の縮小や行政サービスの見直しが生じたとしても、駅周辺など徒歩あるいは公共交通等で移動できる便利な場所に店舗、病院、公共施設などをコンパクトに集める。
2. 今の生活スタイルを変えずに暮らすため、人口減少に伴って一人あたりの税負担が今よりも増加しても、学校や公民館、道路などの公共施設や公共交通などを現状のまま維持していく。
3. 身近に公共的なサービスを受けられないとしても、郊外部において、自然に囲まれ、広々とした住宅でゆったりと暮らせるエリアを創出する。
4. その他（ ）

最後に相模原市の市政や次期総合計画の策定について、ご意見やご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

恐れ入りますが、記入もれがないかどうかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこのアンケートを封入し（切手不要）、平成29年10月16日（月）までにご返送くださるようお願い申し上げます。